



3つのKを達成しよう

○ 活躍しよう

○ 基礎・基本をしっかり身に付けよう

○ 健康な心と体を育てよう

1学期を終えるにあたって

4月8日の入学式・始業式から71日。今日で1学期が終了します。保護者・地域の方々のご協力のおかげで、順調に教育活動を進めることができました。そして、この4ヶ月の間に子供達の活躍や成長を、様々な場面で見ることができました。

7月9日～11日に、京都・奈良に修学旅行に行ってきました。

奈良の大仏様の大きさや清水の舞台の高さに驚いたり、おしゃべりやカードゲームをしたりと、3年生は3日間充実した時間を過ごしました。帰りの新幹線やバスの中では、「もう終わりか。なんか寂しい。」という声も上がっていました。

そんな修学旅行2日目の夜に、座禅体験をしました。その時のお坊さんのお話が印象的でした。

「座禅とは、何も考えないでただ座ることです。しかし、私が若かった頃、何も考えまいと座っていても、いつも過去の辛かったことや、苦しかったことが頭に浮かんでいました。そして、そうしたネガティブな思いはどんどん膨らんでいき、とてもきつかった。そんな時、先輩の僧侶から、マイナスな考えが生じてても、頭の中でそれを育てないことを教わり救われました。マイナスの考えの種を育てず、今に集中すること。それが大切なことです。」というお話でした。

その話を聞きながら、私は松井秀喜選手やイチロー選手の言葉を思い浮かべていました。

松井選手は、日本人でただ一人ワールドシリーズのMVPを取った野球選手です。そんな松井さんですが、ニューヨーク・ヤンキースに入団した直後は不振が続き、ニューヨークのマスコミから「ゴロ・キング」「期待はずれ」と激しくたたかかれていました。そのことについてどう思いますかと聞かれた松井さんは、「メディアが書くことは僕にはコントロールできません。コントロールできないことには、関心を持ちません。」と答えていました。

また、日本でもアメリカでも何度も1シーズンの中で一番多くヒットを打ったイチロー選手も、マスコミの記者から首位打者を争うライバルの名をあげられると「他人の打率は僕にはコントロールできない。意味のない質問ですね。」と。そして、「自分にコントロールできることとできないことを分ける。自分で制御できないことに関心をもたないことです。」と答えています。

私達は、過去の出来事や他人の言動などについて心を奪われがちです。しかし、自分の力でコントロールできないことには思い悩まない。そして、自分が今できることに集中する。座禅体験を通して、そんなことを改めて考えさせられました。

さて、明日から41日間の夏休みが始まります。いつもより少し心の余裕も生まれてくることと思います。家族や地域の一員であることを自覚し、家庭や地域での生活も充実させてください。夏休み中、部活動など以外は基本的に自分で自由に使える時間です。今自分にできることは何か考え、そのことにしっかり取り組んでほしいと思います。

保護者の皆様をはじめ、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。夏休み中、子供達は家庭・地域で生活する場面が多くなります。そうした子供達を、あたたかく見守っていただけると幸いです。